



- 松田正美** 福祉安全委員会副委員長  
総合計画後継基本計画検討委員会委員  
桑名いなば広域連合協議会議員
- 安藤寛雅** 会派会長  
議会運営委員会委員長  
建設水道委員会委員
- 伊藤真人** 会派幹事長  
総務政策委員会委員長  
議会基本条例策定特別委員会委員
- 愛敬重之** 教育経済委員会委員  
桑名広域清掃事業組合協議会議員

## フォーラム新桑名発足

会長 安藤寛雅

東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災にあわれました皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、昨年11月の市議会議員選挙の改選後、現職2名、新人2名を迎えて4名で、フォーラム新桑名を発足することとなりました。

4名の議員の共通課題の認識としては、たゆまざる「行財政改革の推進」と、スポーツによる「健康な人づくり」、市民の健康を支える「地域医療の充実」に取り組んでいく所存であります。

桑名市議会におきましても、議会基本条例の制定に向けて議会基本条例策定特別委員会が、また、桑名市総合計画の前期の見直し・検証、後期計画の策定に対して、総合計画後継基本計画検討協議会が立ち上がっております。桑名市議会・桑名市の今後の方向性を示す重要な会議であります。

私達の会派は、市民の皆様方の声を聴き、市政を考え、市民のために役立つ政策集団として、政策の協議を行ってまいります。

開かれた市議会を目指し、市議会の改革・情報の公開に努め、市民の皆様と新たなパートナーシップを築くことを考えております。

市民の皆様方の温かいご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

## 政務調査費について

桑名市議会では市議会議員の市政に関する調査研究に資するために必要な経費の一部として政務調査費を議会における会派及び議員に対して交付しております。

交付額は、議員一人に対して月額5万円で、年額60万円です。

しかしながら、法制化から数年を経過する中、使途基準が、明確に示されていないこともあり、全国各地また、桑名市においても政務調査費の不適切な使途をめぐって、住民監査請求や住民訴訟が相次いで起こされています。

桑名市議会では、平成22年12月議会において「政務調査費の透明性の確保等に関する決議」を全会一致で可決し、平成23年の3月議会で、「桑名市議会政務調査費の交付に関する条例」について全面改正をおこないました。

主な改正点は、

- ①「会派又は議員の責務」を規定し政務調査費の適正かつ透明性の確保に努める。
- ②収支報告書の提出には領収書の原本や、会計帳簿等の添付義務。
- ③収支報告書や証拠書類について議長の調査権の新設。
- ④提出された収支報告書や、証拠書類は、誰でも手軽に閲覧することができる。

平成23年7月(予定)からは、桑名市議会事務局で閲覧簿に署名していただくだけで、政務調査費の収支報告書の原本を閲覧していただくことができます。

政務調査活動を通じて、市民の皆様方の多様な意見や、先進市町等の事例を参考に政策の提言を行い、桑名市政に反映させるとともに、市の施策の評価・監視に努めてまいります。

## 平成23年度当初予算(一般会計)のポイント

平成23年度当初予算(一般会計)の規模は、対前年度比0.1億円減の450.6億円  
なお、平成22年度における前年度への前倒し措置の3.5億円と、平成23年度における前年度への前倒し措置の0.5億円を加味すれば、対前年度比は3.1億円減

主要な事業の内容を科目別に表にいたしました。【震災の影響で予算に変更が生じる可能性があります。】

総務費	【継続】広報活動費 5,858万円 本年度は、ホームページと市勢要覧をリニューアル	【継続】多目的集会所施設整備費 5,930万円 本年12月末完成予定の(仮称)新西方コミュニティセンター建設工事
	【新規】本庁舎耐震補強事業費 789万円 平成26年度完成を目指す本庁舎耐震補強工事の工法等設定経費	【新規】病院整備基金積立 2億円 新たに基金条例を設け、市民病院整備に備えて積立
民生費	【継続】障害者通所施設整備費補助金 1,500万円 障害者通所施設の施設整備に対し事業費の1/2を補助	【臨時】地域密着型介護老人福祉施設整備費補助金 7,409万円 ・小規模多機能型居住介護事業所整備費補助 ・認知症グループホームのスプリンクラー整備費補助
	【臨時】養護老人ホーム施設整備費 3,870万円 清風園にスプリンクラーを整備	【継続】放課後児童対策事業費 5,146万円 本年度は、益世小学校にて学童保育所を移転整備
	【継続】ファミリーサポートセンター事業費 434万円 従来の育児支援に加え、本年度からは病児・病後児の緊急サポート事業を市で実施	【新規】救急医療情報活用支援事業費 93万円 救急時のため65歳以上のひとり暮らし高齢者等に救急医療情報キット(カプセル)を配付
	【新規】子育て支援拠点施設事業費 993万円 本年5月共用開始予定の東部子育て支援拠点施設の施設管理運営経費【施設名：キラキラ】	【新設】休日保育事業 210万円 桑陽保育所で日曜・祝日の保育を実施
衛生費	【継続】予防接種事業費 4億3,063万円 子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種を引き続き実施	【継続】妊産婦健康事業費 1億630万円 14回実施の妊婦一般健康診査に性器クラミジア検査を追加
農林水産業費	【継続】漁港整備事業費 9,680万円 伊弉島漁港 物揚場改修(伊弉島漁港物揚場の視察では、地盤沈下、ひび割れ等発生しております。)	【継続】有害鳥獣対策事業費 268万円 野生鳥獣が農林水産に被害を与える場合に備える
商工費	【継続】多度大社・多度峡周辺修景事業費 1,380万円 ・多度駅から多度大社までの間に街路灯を順次整備 ・多度大社前公衆トイレ整備のための設計	【新規】鋳物産業振興対策事業費 100万円 鋳物による一般家庭向け日用品の新商品開発補助
土木費	【継続】坂井多度線 2億328万円 新観音橋橋梁上部工	【継続】密集市街地防災まちづくり支援事業費 300万円 重点密集市街地における空家老朽住宅等の除去促進
	【継続】蛸塚益生線 3億9,014万円 高架橋 橋脚部工事・取付部工事ほか	【継続】桑名駅西土地区画整備事業費 2億6,447万円 先行建設街区整備工事、駅北地区整備工事、建物移転償他
消防費	【新規】耐震化促進事業費(緊急雇用) 739万円 緊急雇用創出交付金を活用し、旧耐震基準建築の木造住宅を個別訪問して耐震化を促進	【臨時】文化事業開催費 660万円 ・小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセル等の展示、講演会(市民会館) ・ながしま遊館プラネタリウムで「はやぶさ」関連事業
教育費	【継続】小・中学校空調設備整備事業費 7,609万円 1) 小学校 7,420万円 20校のパソコン教室(一部プレハブ教室)に空調機を設置 2) 中学校 189万円 1校の特別支援教室に空調機を設置	【継続】総合型地域スポーツクラブ育成事業費 370万円 本年2月設立の多度地区の総合型地域スポーツクラブを加え、2クラブに運営費補助
	【継続】幼稚園耐震補強事業費 3,350万円 益生、在良、城南の幼稚園園舎耐震補強工事ほか	【継続】施設維持補修費 8,368万円 ・多度南小学校の再編統合にあわせて外装の塗装を行い、施設整備を図る ・小学校の消火栓ホースが老朽化し、消火作業に支障をきたす恐れがあるため、順次取り替える
	【新規】陽だまりの丘生涯学習施設整備費ほか 630万円 陽だまりの丘に建設する生涯学習施設と子育て支援拠点施設を備えた複合施設整備の基本設計委託料	



- ※国の補正予算に伴い、平成23年度予算事業の一部を平成22年度へ前倒し措置 0.5億円
- 地域活性化交付金(国の補正予算第1号)
  - ・きめ細かな交付金 ⇒ 道路施設維持補修費 0.4億円
  - ・住民生活に光をそそぐ交付金 ⇒ 多度・長島 図書館図書充実費 0.1億円
- ※国の補正予算に伴う、平成22年度予算事業の一部の平成21年度への前倒し措置 3.5億円
- 地域活性化・きめ細かな臨時交付金 3.0億円
- 地域活性化・経済危機対策臨時交付金 0.5億円





## 平成23年3月議会 代表質疑（抜粋）

安藤 寛雅

### 1、総合計画の基本計画の見直し

【議員】 前期の検証・見直しの方法・後期5年の策定の方法について

【市長公室長】 前期の基本事業は、全体的にはほぼ順調に進捗している。市民意識調査を基に原案を作成し、ふるさとづくり委員会、地域審議会、パブリックコメント等を実施し、幅広い意見の聴取をおこなう。

人・物・金は現状維持 優先施策は地域医療対策・子育て対策・防災対策で現実的な目標設定を行い、施策ごとに最優先事業を明確化し、達成度や進捗状況など具体的な数値目標を設定して、誰が見ても分かりやすい構成にする。

【議員】 市長マニフェストとの関係

【市長】 マニフェストの評価は、一つ一つの事業単位で進捗状況を部局に確認しながら市長自らが評価した。マニフェストと後期基本計画の関係は、様々な方法で幅広く意見を聴取し、策定していく総合計画は、市の最上位計画であることから、市長マニフェストに関しても前向きな柔軟な対応をとっていきたい。

### 2、地域医療の充実について

【議員】 地域医療に関する条例制定の考え方について

【保健福祉部理事】 先進地である宮崎県延岡市では、市民の生活様式や、医療に対する要求、健康に対する需要の多様化する中で、基盤となる地域医療を守ることが不可欠と考え条例化を行った。今後調査・研究する。

【議員】 市民参加の公募型の桑名市民病院債の発行の考え方について

【保健福祉部理事】 公募型の病院債については市民の皆様への参加意識を高めるメリット、意義がある。有利で魅力あるものとするには条件等の検討が必要となってくる。

【議員】 市民病院と山本総合病院の再編統合のスケジュールについて

【保健福祉部理事】 事業用資産の買い取り価格が、適正であれば、再編統合の基本協定の締結を行い、地域医療再生基金の手続きを行いながら、両病院間の労務人事に関する協議、基本構想の取りまとめを行い、平成24年度に基本設計及び、実施設計、平成25年度に新病院整備の着手といったスケジュールを想定

### 【議員の思い】

当初の総合計画には、市民病院の整備は計画されていませんでした。総合計画の見直しの中で市民病院の再編統合の位置づけと財政的な市民への影響を注視していく必要があると思っています。

## 行財政改革 経費削減について

伊藤 真人



【議員】 「財政状況は依然として厳しいが、経費削減の努力は限界に近い。」との市側の見解に対し、果たして本当に経費削減は限界に近いのか。行財政改革の成果はどうなっているのか。2台もある市長公用車の廃止等、市長自ら率先して経費の削減をする必要があるのではないか。

【市長公室長】 平成17年度から21年度までの5年間で38億3千万円の効果があったが、経費削減だけの尺度で改革を進めることは市民サービスのバランス面で行政運営を難しくする、各事務事業のスリム化も限界である。第3次行政改革大綱では、新たな尺度として市民満足度を取り入れ、人員財源など限られた行政資源を創造的、効果的に活用する経営的な運営を進める。今後も使用料や手数料の見直しや、未利用地財産の売却や、広告掲載等により自主財源の増収や市税の滞納縮減も計費削減となる。削減の目標値は設定していない。

【市長】 「最小の経費で最大の効果を」と周知している。経費削減にはいろいろな方法があるが市長公用車を無くす様なことは考えていない。

### 【議員の思い】

名古屋市長は公用車を軽自動車に変え、大阪市長はライトバンに変え、伊藤忠商事の元社長、丹羽宇一郎さんは、経営を立て直すために、まず社長車をなくしたそうです。トップが見本を見せなければ経費削減はできないし職員の意識改革もできない。削減効果のあった38億3,000万円は何処へいったのか行方不明、「借金を減らす」「安定した財源の確保」といった目標を持った改革にすべき。病院事業やごみ事業など、各々100億円を越える予算が必要です。議会を含めた総人件費の削減等をし、将来の超高齢社会に備えた財政計画を早急に進めるべきです。

## 安全・安心の食のために一桑名市における地産地消の取り組みについて

松田 正美

【議員】 食における安全・安心をもとめる市民の思いと農業振興施策を願う生産者の思いをうまくつなぐ意味で、地域で生産された農作物等を同じ地域で消費しようという地産地消の桑名市における取り組みについて質問しました。

### 「地産地消の現状と今後の推進施策について」

地場産品が、どの程度地元桑名で流通しているのか、ならびに学校給食での取り組みについて質問しました。

また、桑名市における本格的な直販所の設置と桑名市地産地消条例の制定を提案しました。

【経済環境部長】

米・たけのこ・なばな・みかんなどが農協に出荷され、広く市場に流通。JAの直販所・ドンファーム・なばなの里などへ直接生産者が持ち込み、出荷しているものもある。

【教育長】

学校給食では、地元食材を使った「ふるさと発見ランチ」を月2回実施。しじみ・のり・なばな・多度みかんなどを取り入れている。

【経済環境部長】

地産地消を拡大するための新たな直販所の開設について、JA桑名さんへお願いすると共に市としても協力したい。条例化については、鈴鹿市が平成23年4月1日から施行するとのことであるが、桑名市としては今後の研究課題としたい。

また、このほかには認知症高齢者の桑名市における現状と対策・桑名市消防署の勤務体制の変更に伴う職員の増強の考え方などについて質問しました。

### 【議員の思い】

議員になって、おおよそ半年になろうとしています。いつも思うことは、自分の思いをしっかりと込めた話ができるようになりたいということです。政治に関わるものにとって言葉は命です。自分のことばで思いを込めて、皆さんに伝えたいと思っています。

## 総合運動公園の整備について

愛敬 重之



【議員】 H22年第4回定例会・H23年第1回定例会において、総合運動公園の、現在建設中のサッカー場完成予定と、総合運動公園すべてを周回できる園路について。又、利用されている市民の皆様からご要望の多かったグラウンドゴルフ場付近のトイレ設置等について、各競技団体とどのように情報交換など行っているのか。

### H22年第4回定例会の答弁

【都市整備部長】 現在建設中のサッカー場については、今後順調に工事が進めば6～7年で完全完成の予定。総合運動公園すべてを繋ぐ園路については、競技場の日常的に使用される一般向けを設定している。土地柄高低差もあり地理的な条件から、競技用としてのランニングコースを整備する計画は考えていない。園路については今後勉強していくが、なかなか機械的には難しいものであろうと思う。また、議員からもそういうふうな質問、意見等あればこれからも伺ってきたい。

### H23年第1回定例会の答弁

【都市整備部長】 整備済みの園路については、現状では市民駅伝等が行えるような構造となっていない事から、未整備箇所の計画を変更するだけでは、コース設定が満足できる状況ではない。こうした状況において、市民駅伝等のできるようなコース設定するには、地形的な条件や未整備箇所の計画変更、既存施設の必要最小限での改変が必要となっている。現在、機能面、安全面等それぞれの角度から検討しているところ。スポーツ団体の意見交換については、市民や各団体等から寄せられる意見や要望、また、教育委員会事務局とも連絡を密にし、情報の共有を図りながら、意見等を集約しているところ。

### 【議員の思い】

桑名市も前向きな答弁などいただける事から、これからも市民の皆様のご意見、ご要望を伺いながら、誰もが安全で快適に利用できる総合運動公園の整備が進むように努めて参ります。

### 【ご参考】 H23年度中に予定されている「総合運動公園の整備計画」

サッカー場側の設置工事、園路等整備(3,300㎡)、植栽工(2,500㎡)。

2月16日～18日、フォーラム新桑名では地域医療関連・議会改革関連・教育関連で視察に行っていました。

トピックス

#### 【延岡市の地域医療守る条例】



条例作成までの経緯や【延岡市の地域医療守る条例】市の責務・市民の責務・医療機関の責務など熱心に解説いただきました。

延岡市 健康福祉部 地域医療対策室 甲斐室長

#### 【健康づくりについて延岡市の旭化成陸上競技部】



【子ども達には、世界を目指した夢がもてる】教育や環境整備を是非お願いしたい。宗兄弟から、熱心に講義していただきました。

旭化成陸上競技部 宗兄弟

#### 【大分市議会基本条例】



【大分市議会基本条例】策定に至った経緯や完成までのご苦労や現在の運用実績など教えていただきました。

大分市議会 長田議員と日小田議員

#### 【町立病院から民営化で成功した大分市の佐賀関病院】



大分市と佐賀関町が合併し、町立病院から民営化になった経緯や、成功までのご苦労など伺ってまいりました。

社会医療法人 関愛会 佐賀関病院 姫野事務長